

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(厚生労働省2(VII-1-1))

\* 厚生労働省では、基本目標>施策大目標>施策目標を設定して、政策を実施しています。

|                   |  |  |           |   |        |                   |
|-------------------|--|--|-----------|---|--------|-------------------|
| 施策目標名(政策体系上の位置付け) | 保育の受け皿を拡大するとともに、それを支える保育人材の確保を図ること(施策目標VII-1-1)<br>基本目標VII:安心して子どもを産み育てることを可能にする社会づくりを推進すること<br>施策大目標1:利用者のニーズに対応した多様な保育サービスなどの子ども・子育て支援事業を提供し、子どもの健全な育ちを支援する社会を実現すること   |  | 担当<br>部局名 | 子ども家庭局保育課   | 作成責任者名 | 子ども家庭局保育課長 矢田貝 泰之 |
| 施策の概要             | ○ 「新しい経済政策パッケージ」(平成29年12月8日閣議決定)において、「子育て安心プラン」(平成29年6月公表)を前倒し、32万人分の保育の受け皿を令和2(2020)年度末までに確保することとしている。<br>○ 待機児童の解消に向けて、保育の受け皿整備とともに、保育人材の確保を一体的に進めている。また、延長保育や病児・病後児保育など、子育て家庭における様々なニーズに対応した多様な保育の充実を図っている。 |  |           |   |        |                   |
| 施策実現のための背景・課題     | 1  | 都市部を中心に待機児童が多く発生しており、保育の受け皿整備と、それを支える保育人材の確保が課題となっている。                         |           |   |        |                   |
|                   | 2  | 働き方が多様化する中で、延長保育や病児保育といった多様な保育ニーズが高まっており、通常行われている保育では対応しきれない保育需要への対応が課題となっている。 |           |   |        |                   |
| 各課題に対応した達成目標      | 達成目標/課題との対応関係  |  |           | 達成目標の設定理由   |        |                   |
|                   | 目標1<br>(課題1)   | 女性就業率の上昇や働き方の多様化などに対応できる保育の受け皿確保   |           | 女性就業率の上昇等に伴い、保育の利用申し込み率が伸びることが見込まれ、増加する保育の申込に対応できる保育の受け皿が必要となるため。 |        |                   |
|                   | 目標2<br>(課題2)   | 多様な就労形態に応じた保育サービスの推進   |           | 保護者の多様な就労形態・就労時間に対応するため、多様な保育を推進する必要があるため。                        |        |                   |

達成目標1について

| 測定指標(アウトカム、アウトプット)<br>※数字に○を付した指標は主要な指標   | 基準値   |        | 目標値    |        | 年度ごとの目標値<br>年度ごとの実績値 |        |       |       |        | 測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠   |
|---|-------|--------|--------|--------|----------------------|--------|-------|-------|--------|---|
|   | 基準年度  | 基準値    | 目標年度   | 目標年度   | 平成29年度               | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度  |   |
|   |       |        |        |        | —                    | —      | —     | —     | —      |   |
| ① 保育の受け皿の整備量(平成29年度比)<br>(アウトカム)  | 0     | 平成29年度 | 約32万人  | 令和2年度末 | —                    | —      | —     | +32万人 | —      | 「子育て安心プラン」では、2020年度(令和2年度)末までに32万人分の保育の受け皿を確保することとしていることから、平成29年度を基準として、2020年(令和2)年度末に32万人分の保育の受け皿が整備されていることを目標としている。   |
| 2 保育補助者雇上強化事業を利用した市町村数(アウトプット)<br>【新経済・財政再生関連:社会保障分野40-ii】<br>【新経済・財政再生計画改革工程表のKPI関連】   | 87市町村 | 平成29年度 | 300市町村 | 令和3年度末 | —                    | —      | —     | —     | 300市町村 | 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇い上げに必要な費用を支援する「保育補助者雇上強化事業」によって、保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止につながるため、同事業を利用した市町村数を測定指標として設定し、目標値は、新経済・財政再生計画改革工程表のKPIにあわせて設定した。<br>【新経済・財政再生計画改革工程表のKPIは、施策の達成状況を示すものとなり、同KPIと同じ指標を測定目標として設定】    |
| 3 保育補助者雇上強化事業により雇い上げられた人数(アウトカム)<br>【新経済・財政再生関連:社会保障分野40-ii】<br>【新経済・財政再生計画改革工程表のKPI関連】 | 883人  | 平成29年度 | 3,000人 | 令和3年度末 | —                    | —      | —     | —     | 3,000人 | 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇い上げに必要な費用を支援する「保育補助者雇上強化事業」によって、保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止につながるため、同事業により雇い上げられた人数を測定指標として設定し、目標値は、新経済・財政再生計画改革工程表のKPIにあわせて設定した。<br>【新経済・財政再生計画改革工程表のKPIは、施策の達成状況を示すものとなり、同KPIと同じ指標を測定目標として設定】 |
|   |       |        |        |        | 883人                 | 2,951人 | 集計中   |       |        |   |

| 達成手段1 |                              | 予算額(執行額)                           |                                    | 令和2年度<br>予算額   | 関連する<br>指標番号 | 達成手段の概要、施策目標達成への寄与の内容等                               | 令和2年行政事業レビュー事業番号 |
|-------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------|--------------|--|------------------|
|       |                              | 平成30年<br>度                         | 令和元<br>年度                          |                |              |  |                  |
| (1)   | 保育所等整備交付金<br>(平成27年度)        | 107,639百<br>万円<br>(101,636<br>百万円) | 115,254百<br>万円<br>(104,589<br>百万円) | 126,748百<br>万円 | 1            | 市町村整備計画に基づく保育所等の整備に必要な経費の一部を交付する。                    | 654              |
| (2)   | 保育対策総合支援事業費<br>(平成27年度)      | 50,692百<br>万円<br>(32,732百<br>万円)   | 51,703百<br>万円<br>(44,417百<br>万円)   | 55,580百<br>万円  | 1,2,3        | 「子育て安心プラン」に基づく小規模保育等の改修等や保育人材確保対策等の実施に必要な経費の一部を補助する。 | 655<br>656       |
| (3)   | 仕事・子育て両立支援事業費補助金<br>(平成28年度) | 170,113百<br>万円<br>(170,055<br>百万円) | 202,006百<br>万円<br>(193,803<br>百万円) | 227,328百<br>万円 | 1            | 事業所内保育を主軸とした企業主導型の多様な就労形態に対応した保育サービスの拡大を支援する。(内閣府所管) | -<br>(内閣府予算)     |

達成目標2について

| 測定指標(アウトカム、アウトプット)                 | 基準値        |            | 目標値           | 目標年度  | 年度ごとの目標値<br>年度ごとの実績値 |             |             |               |           | 測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠   |
|------------------------------------|------------|------------|---------------|-------|----------------------|-------------|-------------|---------------|-----------|---|
|                                    | 基準年度       | 基準年度       |               |       | 平成29年<br>度           | 平成30年<br>度  | 令和元<br>年度   | 令和2年<br>度     | 令和3年<br>度 |   |
| ④ 延長保育等の保育サービス(受入可能児童数)<br>(アウトカム) | 81万人       | 平成25年<br>度 | 122.3万人       | 令和6年度 | 94万人                 | 97万人        | 101万人       | 120.1万人       | -         | 少子化社会対策基本法(平成15年法律第133号)第7条の規定に基づき定めた「少子化社会対策大綱」(令和2年5月29日閣議決定)では、令和2年度から令和6年度までの5年間を目途とした施策の数値目標を掲げているため、同大綱の数値目標を目標値として設定した。<br>※令和元年度以前は、延長保育事業の利用児童数。令和2年度以降は、市町村計画を踏まえ、地方単独事業を含む延長保育事業全体の受入可能児童数。                      |
|                                    |            |            |               |       | 106万人                | 107万人       | 集計中         |               |           |   |
| 5 病児保育事業(受入可能児童数)<br>(アウトカム)       | 延べ50万<br>人 | 平成25年<br>度 | 延べ207.5<br>万人 | 令和6年度 | 延べ112万<br>人          | 延べ131万<br>人 | 延べ150万<br>人 | 延べ195.9<br>万人 | -         | 少子化社会対策基本法(平成15年法律第133号)第7条の規定に基づき定めた「少子化社会対策大綱」(令和2年5月29日閣議決定)では、令和2年度から令和6年度までの5年間を目途とした施策の数値目標を掲げているため、同大綱の数値目標を目標値として設定した。<br>※令和元年度以前は、病児保育事業(国庫補助事業)における病児・病後児対応型の利用児童数。令和2年度以降は、市町村計画を踏まえ、地方単独事業を含む病児保育事業全体の受入可能児童数。 |
|                                    |            |            |               |       | 69万人                 | 67万人        | 集計中         |               |           |   |

| 達成手段2 |                                    | 予算額(執行額)                           |  | 令和2年度<br>予算額     | 関連する<br>指標番号 | 達成手段の概要、施策目標達成への寄与の内容等   | 令和2年行政事業レビュー事業番号 |
|-------|------------------------------------|------------------------------------|--|------------------|--------------|--|------------------|
|       |                                    | 平成30年<br>度                         | 令和元<br>年度                              |                  |              |  |                  |
| (4)   | 子ども・子育て支援交付金<br>(平成27年度)           | 118,766百<br>万円<br>(110,618<br>百万円) | 164,347百<br>万円<br>(132,868<br>百万円)     | 161,885百<br>万円   | 1,4,5        | 子ども・子育て支援法第61条第1項の規定により策定する市町村子ども・子育て支援事業計画に基づき実施される地域子ども・子育て支援事業(支援法第59条)に対し、市町村が支弁した費用について、国が予算の範囲内で交付金を交付し、事業の推進を図る。(内閣府所管) | -<br>(内閣府予算)     |
| (5)   | 子どものための教育・保育給付費補助<br>金<br>(平成27年度) | 5,391百万<br>円<br>(2,131百<br>万円)     | 6,829百万<br>円<br>(1,800百<br>万円)         | 6,933百万<br>円     | 1,4,5        | 「認可化移行運営費支援事業」及び「幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業」の実施に要する経費に対し補助金を交付し、もって待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができるような体制整備を行うことを目的とする。(内閣府所管)      | -<br>(内閣府予算)     |
| (6)   | 子どものための教育・保育給付費負担<br>金<br>(平成27年度) | 905,542百<br>万円<br>(905,137<br>百万円) | 1,122,722<br>百万円<br>(1,122,374<br>百万円) | 1,338,956<br>百万円 | 1,4,5        | 子ども・子育て支援法第68条第1項の規定に基づき、市町村(特別区を含む。)が支弁する施設型給付費等の支給に要する費用の一部を負担することにより、子どもが健やかに成長するように支援することを目的とする。(内閣府所管)                    | -<br>(内閣府予算)     |

| 施策の予算額(執行額)(千円) | 平成30年度        |                 | 令和元年度         |                 | 令和2年度         |  | 政策評価実施予定<br>時期(評価予定表) | 平成30年度 |
|-----------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|--|-----------------------|--------|
|                 | 1,324,199,049 | (1,322,333,418) | 1,660,599,335 | (1,599,875,016) | 1,919,712,637 |  |                       |        |
|                 |               |                 |               |                 |               |  |                       |        |

| 施策に関する内閣の重要施策<br>(施政方針演説等のうち主なもの) | ma   | 年月日 | 関係部分(概要・記載箇所)   |
|-----------------------------------|--|-----|---|
|                                   | ①「子ども・子育てビジョン」<br>②「少子化社会対策大綱」<br>③「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」<br>④「ニッポン一億総活躍プラン」<br>⑤「未来への投資を実現する経済対策」<br>⑥「子育て安心プラン」<br>⑦「新しい経済政策パッケージ」 |     | ①平成22年1月29日<br>②平成27年3月20日<br>③平成27年11月26日<br>④平成28年6月2日<br>⑤平成28年8月2日<br>⑥平成29年6月2日<br>⑦平成29年12月8日 |